

南三陸町立戸倉小学校



# うしおっこ



「はやね・はやおき・あさごはん」

～すっきり目覚め、しっかり朝食をとり、目をきらきらさせて、活発に活動する子を！～

## 【9月の主な予定】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3【バス 15:00】 朝会 校内水泳記録会 自由参観	4	5 校内水泳記録会 (予備日) 自由参観 委員会	6 たてわり清掃 5年校外学習 (NHK)	7	8
9	10 巡回小劇場 (4～6年生)	11 海体験活動 (1～3年生) 表現朝会	12 4年校外学習 (県庁, 県警)	13 祖父母交流会 たてわり清掃	14 クラブ	15
16	17 敬老の日	18	19 【弁当の日】 6年修学旅行	20 【弁当の日】 6年修学旅行	21 まゆマスコット 運動(4年)	22
23 秋分の日	24 振替休日	25【バス 15:00】 秋の交通安全 教室	26 代表委員会 集金日 狂言ワークショップ (5,6年)	27 たてわり清掃 4年校外学習 (消防署, クリーン センター)	28【荒町バス のみ 15:00】 【弁当の日】 全校遠足	29
30						

## 【いよいよ、第2学期がスタートしました】

8月27日(月)に第2学期始業式を行いました。子供たちは、やる気に満ちた顔で式に参加しました。子供たちが事故や事件に巻き込まれることなく元気に夏休みを過ごすことができたのは、保護者の皆様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。

始業式後、子供たちは各学級で夏休みの思い出を発表し合ったり、2学期の目標を考えたりしました。子供たち一人一人が、目標に向かって前進しようとしている姿が印象的でした。

今学期も、子供たちのために教職員が一丸となり、保護者の皆様と手を取り合いながら教育活動を進めます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 【生活目標】

- 年間の生活目標 『あいさつをしっかりとしよう』
  - ・登下校時のあいさつ、来校する方々へのあいさつをしっかりと行います。
- 8～10月の生活目標 『進んで運動しよう』
  - ・熱中症対策をしっかりと行い、体を動かす機会を増やしていきます。

### 【温かいご支援、ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。】

- 「山形県東田川郡三川町立横山小学校 児童会」から義援金をいただきました。

## 【町水泳記録会】

7月24日(火)に志津川小学校プールにて、町の水泳記録会が開催されました。戸倉小の5・6年生の子供たちは日頃の練習の成果を十分に発揮して、大活躍をしました。成績は表彰状や記録賞に記録し、配布をいたします。ご家庭でも、お子さんの活躍を褒めていただければ幸いです。以下に、1位の成績を紹介します。

50m平泳ぎ(6年男子)	: 佐藤将	51秒2
25m自由形(6年男子)	: 佐藤将	16秒3【大会新記録】
25m背泳ぎ(6年男子)	: 小山理人	25秒2
75mメドレーリレー(女子)	: 佐藤華那 後藤未来 高橋結	1分20秒5
75mメドレーリレー(男子)	: 小山理人 星海聖 佐藤将	1分11秒6【大会新記録】

## 【PTA 奉仕作業・PTA 親子行事 8/25開催】

台風の動きが心配されましたが、幸い天気にも恵まれ予定通り行事を行うことができました。

奉仕作業では、畑を中心に草刈りを行い、夏休み中に生えた草をきれいに除草していただきました。

校舎内では、窓やトイレの清掃を行っていただき、子供たちが気持ちよく学校生活を送る準備をしていただきました。本当に、ありがとうございました。



神割崎キャンプ場を会場に親子バーベキューを開催しました。初めての開催とあって、企画や準備を手探りで進めましたが、大変楽しいバーベキューとなりました。大人が食事の準備を進める間、子供たちは、浜に降りて三陸の海を十分に楽しみました。スイカ割りの歓声が聞こえる中、食事の準備が整い、おいしいバーベキューを楽しみました。役員の方々、前日の食材の買い出しやバーベキューコンロの準備をしていただいた方々、調理をしていただいた方々、本当にありがとうございました。



## 【\*NIE 研修会】 \*NIE： Newspaper in Education(教育に新聞を教材として活用すること)

本校では、子供たちの学力向上のため、新聞を教材として活用する学習を進めています。それに伴い、夏休み中に教職員の資質向上を図るための研修会を戸倉小学校で開催しました。河北新報に研修の様子が掲載されましたので、紹介をいたします。研修で学んだことは、2学期の学習活動に生かしていきます。

### 新聞で「ことば貯金」心に留まった記事など切り抜き 南三陸教員18人が研修に参加

教育現場で新聞の活用策を考える宮城県NIE地区研修会が23日、南三陸町戸倉小であり、同町や気仙沼市の小中高の教員18人が参加した。

仙台市の中学校教諭の経験があるNIE教育コンサルタント渡辺裕子氏が「ことばの貯金箱」のワークショップを開催。参加者は新聞から心に留まった記事や見出しを切り抜き、台紙に貼って発表した。

渡辺氏は「選んだ言葉を見ることで自分と向き合う時間が生まれる。ことばの貯金箱が(子どもたちが)新聞を読む入り口になる」と強調した。戸倉小の高橋俊之教頭は「児童の生きる力を育む上で、言葉の重要性を改めて感じた」と話した。

共同通信社の長田良夫仙台支社長は「マスメディアの中の通信社の役割」と題して講演し、新聞社に配信するニュースの扱われ方などを説明した。

(河北新報 2018年8月24日金曜日 宮城のニュース)

